

# 再建だより

## 伽藍再建に向けて

- ・現況測量
- ・今までの伽藍の掌握
- ・再建基本計画案の作成
- ・設計士さんの選定

### 「再建だより」発行にあたり

圓福寺伽藍再建に向けて、毎月の役員会をはじめ、設計士さんとの打ち合わせ等、着実に歩を進めているところです。その内容を、寺報や、施餓鬼会・彼岸会などといった行事の折にしかお伝えすることができず、檀信徒のみなさんにはなかなか進捗具合をお知らせすることができません。

これまでの経過も、次の寺報でと考慮しておりましたが、発行間隔がありすぎるので、再建に向けての経過をお伝えする小冊子を発行して、広くそしてできるだけタイムリーに進捗状況をお知らせしていきたいと存じます。

お寺にとりましても、何百年に一度の大事業で、伽藍という建物だけでなく、その時に檀信徒のみなさんとどのように再建に取り組んだのかを詳細に記録にとどめられたら、後世、少しは役に立つかもしれないと思う次第です。

そこで、この小冊子の名前は「再建だより」ですが、副題として「伽藍再建への道」などと大それたものにしてしまいました。

どうぞ、伽藍再建の暁、落慶法要が圓成するまでの間、しばしご高覧いただければ幸いです。

平成28年初夏

圓福寺住職 宮田 宗格 合掌



#### 目次：

現況測量	2
行事・活動のまとめ	3
建物概要	4
基本計画案	5
設計士さんの選定	6
設計士さんの紹介	7
次号のお知らせ	8

### 現況を知る

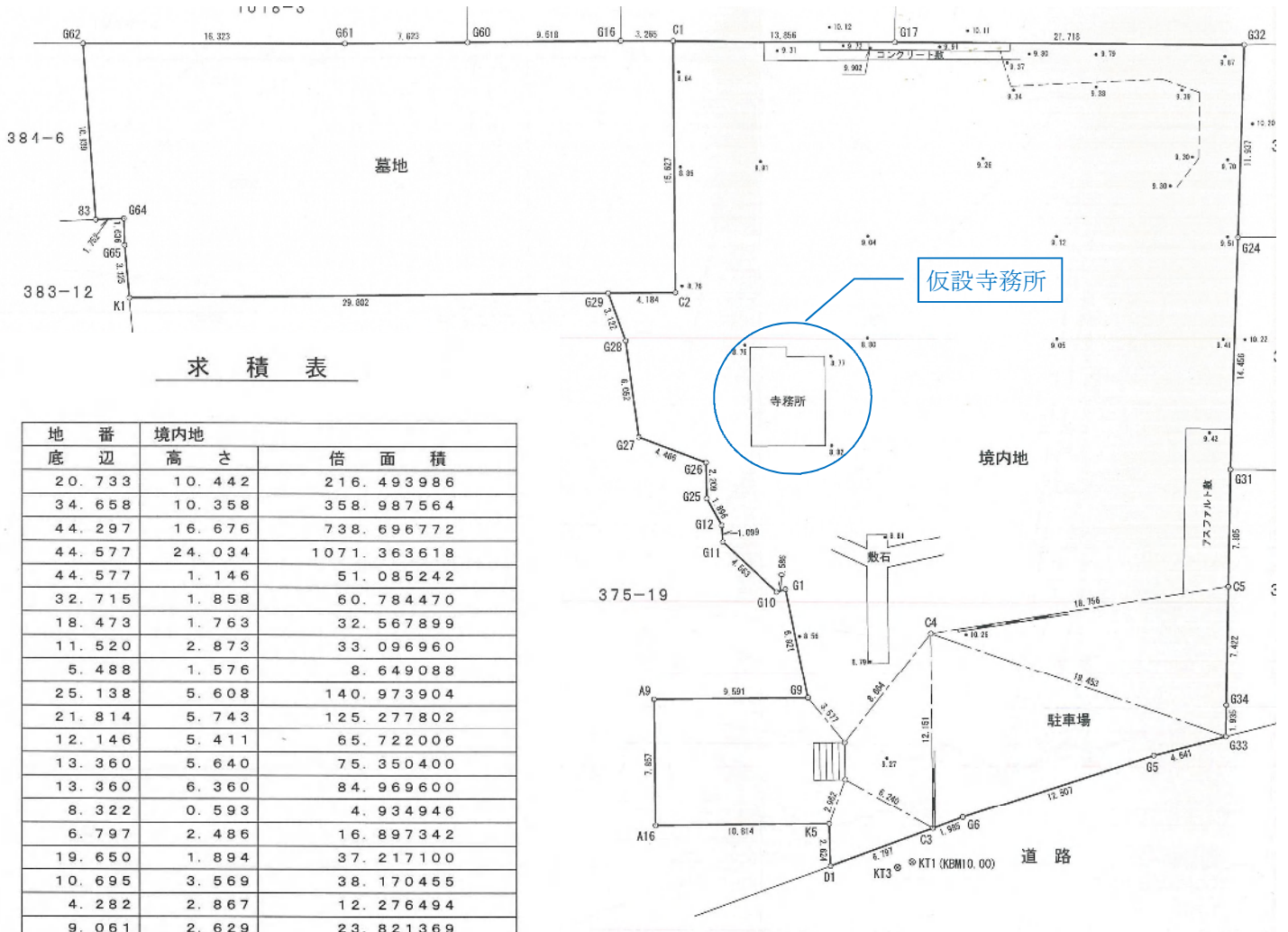
伽藍再建に向けての第一歩は、境内の現況を知らなければならないということで、現況を測量することにいたしました。

ようやく、焼け跡の残材が片付いた平成27年7月に、測量をしてもらいました。前面道路との高低差があるので、平面の測量だけでなく、高さも計測し、既存の大師堂や、住職が作ったかつての本

堂・庫裏への石畳も、図面上に表記してもらい、多少今までの建物配置がわかるようにしてもらいました。

それによると、前面道路から一番低いところで-1.2m、大師堂・墓地・幼稚園を除く境内地の広さは約450坪ということでした。（詳細は、次のページの図をご覧ください。）

## 現況測量図



求積表

地番	境内地		
底辺	高さ	倍面積	
20.733	10.442	216.493986	
34.658	10.358	358.987564	
44.297	16.676	738.696772	
44.577	24.034	1071.363618	
44.577	1.146	51.085242	
32.715	1.858	60.784470	
18.473	1.763	32.567899	
11.520	2.873	33.096960	
5.488	1.576	8.649088	
25.138	5.608	140.973904	
21.814	5.743	125.277802	
12.146	5.411	65.722006	
13.360	5.640	75.350400	
13.360	6.360	84.969600	
8.322	0.593	4.934946	
6.797	2.486	16.897342	
19.650	1.894	37.217100	
10.695	3.569	38.170455	
4.282	2.867	12.276494	
9.061	2.629	23.821369	
9.319	1.220	11.369180	
3.983	0.494	1.967602	
5.659	0.720	4.074480	
4.883	0.474	2.314542	
倍面積		3217.062821	
面積		1608.5314105	
地積		1608.53	m <sup>2</sup>

現況の地積測量の面積には、大師堂や大師堂前のスロープ、駐車場の面積等も入っての敷地面積となっています。

なお、用途種別等は次の通りです。

- ◆用途種別  
第一種中高層住居専用地域
- ◆容積率 200%
- ◆建蔽率 60%
- ◆防火地域等 22条区域
- ◆その他  
第一種高度地区(20m)



現況の境内

## 年間行事



「禅童会」

行事名	時期	場所			数			宿泊
					人数(人)	件数	車台数(台)	
本堂法要	通年	本堂	書院	駐車場	平均10	100件	各5	
法要出齋	通年	書院	厨房	駐車場	平均20	20件	各3	
本堂葬儀	通年	本堂	書院	駐車場	75	3件	各5	○
春彼岸法要	3月彼岸前日曜	本堂	書院	駐車場	250		多数	○
初盆施餓鬼	7月盆前土曜	本堂	書院	駐車場	80		25	○
山門施餓鬼	7月盆前日曜	本堂	書院	駐車場	250		多数	
7月棚経		書院		駐車場	3		3	○
8月棚経		書院		駐車場	6		6	○
禅童会	7月夏休み	本堂	書院	厨房	20		5	○
地藏盆	8月24日前の土曜	本堂	書院	厨房	1000		多数	
布薩会		本堂	書院	厨房	20		8	
年越しまいり	大晦日	本堂	書院	厨房	80		15	○
幼稚園卒園式	3月中旬	本堂	書院		300			
幼稚園お茶会	3月上旬		書院		120			

## 花園会活動など



「春彼岸法要」

活動名	時期	場所			数	
					人数(人)	車台数(台)
花園会新年会	1月第3土曜日	本堂	書院	駐車場	40	10
2月土曜会	第3土曜	書院	厨房	駐車場	30	5
春彼岸法話会	3月彼岸	書院	厨房	駐車場	30	5
涅槃寄席	10月土曜会	本堂	書院	厨房	40	8
歳末ボランテラ	12月第3土曜	本堂	書院	全部	50	10
坐禅会	毎週木曜日	本堂	書院	駐車場	10	3
写経会	毎月第1日曜日	書院		駐車場	12	5
茶禅会	毎月2回	茶室		駐車場	5	3
ご詠歌		書院		駐車場		
幼稚園お茶けいこ	毎月2回	本堂				

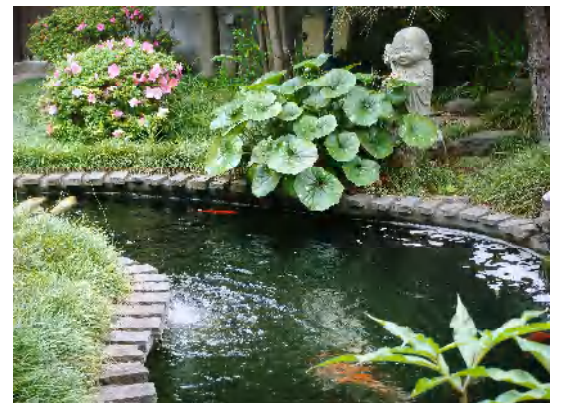
## 境内点描



冬：豪雪の中庭



春：木蓮越しの本堂屋根瓦



初夏：池越しのわらべ地藏とサツキ

## 基本計画案の立案

圓福寺の今までの行事や活動に基づいて、必要となる建物や部屋を整理しました。そして、お彼岸やお施餓鬼といった大法要時に、お参りの方に不自由な思いをしていただかないこと、駐車場から庫裡や本堂そして墓地へのスムーズな動線、檀信徒の方のご法事での使い勝手の良さ、また葬儀などのご依頼にもこたえられることなど、お寺の押し付けではなく檀信徒の方、お参りの方を第一に考えるということを念頭に、役員会で検討させていただきました。

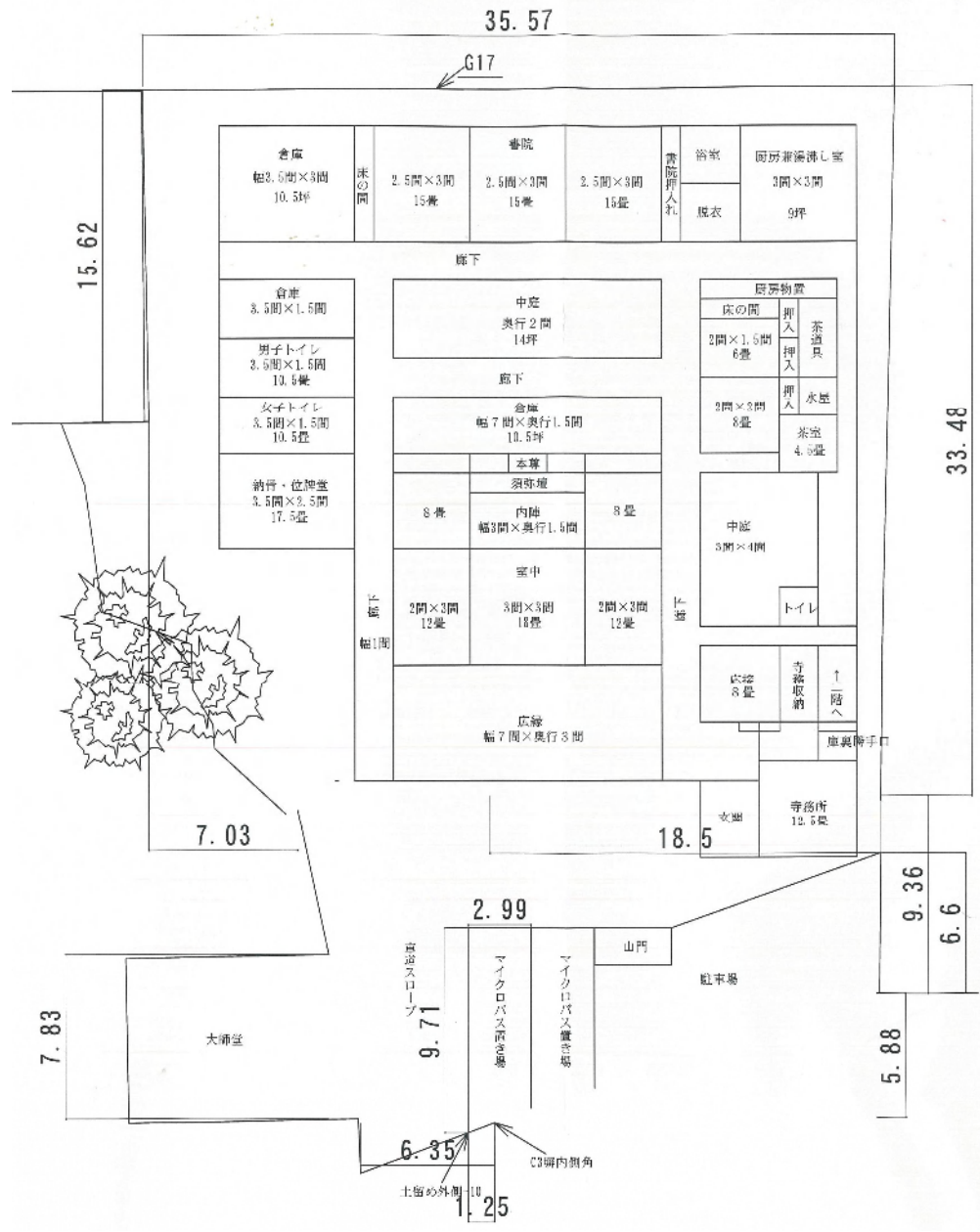
なお、お寺の建物を建築する際に、建築委員会を設立することが多いようですが、圓福寺の場合は役員会を毎月開催し

ており、常日頃よりお寺の行事や活動、花園会会計などに取り組んでまいりましたので、現段階ではこの役員会を中心に基本計画案などの協議を進めております。

## 建物概要

【本堂】	【庫裡】	【書院】
ないじん 内陣 本尊様を安置	玄関	広間
内陣脇間 内陣両側の和室	玄関廊下	廊下
じょうかん 上間 参拝者席	いだてん 韋駄天 韋駄天様を安置	床の間
げかん 下間 参拝者席	寺務室	茶室
しっちゅう 室中 本堂中央の間	客間 応接室	茶道具収納
前廊下	厨房	押入れ
前縁側	倉庫 年間行事関係	倉庫 椅子・テーブル収納
正面階段	トイレ	浴室 来客・行事用
周り廊下		トイレ
裏廊下		
トイレ		
【駐車場】	【山門】	【その他】
乗用車 7～8台分	山門	外物置 年間行事関係ほか
身障者用駐車スペース	車寄せ	外トイレ 墓参用
マイクロバス 2台分	塀	手桶置場 墓地用
	石段	流し 墓地用
	寺号石 寺名を彫った石柱	住職住居
	案内板	
	掲示板	

# 基本計画案（平面図）



## 平面図の作成

前記の建物概要をもとに、役員会で話し合いを重ねて、圓福寺の意向としての平面図を作成しました。出来上がってみると、今までの圓福寺の建物に似通ってきましたが、増築・改築を重ねたかつての建物の使い勝手がよかったと言えるのかもしれませんが、ここには掲載できませんでしたが、建物の階下に8台分の駐車場を確保するようにしました。

作図には、JW-CADというソフトを使って、パソコンで行いました。現況測量図のX軸Y軸の数値を入力するだけで、測量図を再現してくれましたので、

そこに建物を置いていくだけで作図は完成します。とはいえ、お参りの人の動線や、行事の時の使い勝手などを考えれば考えるほど、玄関の位置を動かしてみたり、部屋の配置を変えてみたり、トイレの位置はこれでいいのか、倉庫の広さは十分かなど時間のかかる作業でした。

特筆すべき点は、本堂前面の廊下の奥行を、今までの一間から三間にして本堂の収容人数を増やしたこと、それに伴いトイレを広くしたこと、書院や倉庫の拡張、茶室の整備などがあげられます。



## 設計士さんの選定

伝統的な本堂を建てるとなると、臨濟宗の本堂の基本的な間取りは決まってきますし、宮大工さんの長年のノウハウに基づいて建てればいい話になります。庫裏にしても、間取りなどは住職の意向を聞いて大工さんが図面を起こして建築するのが一般的です。お堂にしろ、門にしろ然りとあったところです。

ところが、今回圓福寺のように、伽藍すべてを建てるとなると、大工さんだけのノウハウでは限界があります。そこで、社寺建築専門の設計士さんを選定して、伽藍はもとより、境内全体をトータルで考えてもらうのがいいと、役員会の意見がまとまりました。

候補となる設計士さんは、社寺建築専門の設計施工会社さん、木造寺院建築専門の設計士さん、社寺建築にご興味をお持ちの地元の設計事務所さん、木造だけでなく鉄骨や鉄筋コンクリート造の社寺建築も手掛ける設計事務所さんと、偏らないように四社をあげました。各社に、前頁までのお寺の行事や活動、建物概要、伽藍再建案を説明させていただいた上で、各社のプレゼンテーションを聞いて、設計士さんを選定することにいたしました。

## 設計士さんのプレゼンテーション

右の依頼状の通り、2月10日に設計士さんのプレゼンテーションを住職はじめ役員さん全員の前でしていただきました。

依頼状にも書いてありますが、内容としては以下の通りです。

- ① 実績・経験の説明
- ② 平面図、配置図、外観の概略
- ③ 建設費概算
- ④ 設計料（施工監理費を含む）
- ⑤ 設計期間
- ⑥ 工期
- ⑦ 施工業者の選定方法
- ⑧ その他

これらについて、プレゼンテーション45分、質疑応答15分とさせていただきました。

各社それぞれの特徴を生かしたご提案をいただきましたが、その後の協議を待つまでもなく、住職、役員一同満場一致で、「菅野企画設計」さんを圓福寺伽藍再建の設計士さんに決定いたしました。

役員さんには、お忙しい中、貴重なお時間を拝借し、また設計士さん選定という大役で、一言半句聞き逃しのないようにと緊張の連続だったのではないかと思います。お疲れ様でした。

平成28年1月9日

〒263-0025

千葉県稲毛区六川町375

宗教法人 圓福寺 代表役員 宮田 宗裕

TEL 043-251-9181 FAX 043-251-9549

### 圓福寺伽藍再建に関するご提案依頼の件

拙者

慶中初見舞い申し上げます。新年を迎えられ、貴社におかれましては益々ご清栄のことと大変に喜ばれます。昨年、当寺伽藍再建についてのご説明に貴重なお時間を拝借し、誠にありがとうございました。ご説明させていただきましたこと、伽藍再建の中心が進み始めた感じがいたします。

つきましては、年初のご繁忙の折とは存じますが、下記の内容にて伽藍再建のご要望をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

敬白

記

1、日時 平成28年2月10日（水）

2、場所 圓福寺 仮設事務所

3、内容

- ① 実績・経験の説明
- ② 平面図、配置図、外観の概略
- ③ 建設費概算
- ④ 設計料（施工監理費を含む）
- ⑤ 設計期間
- ⑥ 工期
- ⑦ 施工業者の選定方法
- ⑧ その他

4、時間 プレゼンテーション 45分、質疑応答 15分

5、対象 代表役員ほか役員7名

6、その他 ご不明の点等ございましたら、お問い合わせください。

# 株式会社「菅野企画設計」

本社：〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田往還南60-3  
 横浜事務所：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-14

Wise Next新横浜3F

設立：1987年

代表取締役：菅野 良司 (1956年高山市生まれ)

千葉大工学部建築学科卒、一級建築士

スタッフ：一級建築士6名(うち女性1名)、二級建築士女性3名

## ① 実績・経験



岐阜県 永保寺本堂外観



静岡県 永安寺本堂内部



名古屋市 光通寺山門

完成年	宗派	寺院名	工事内容	構造など	所在地
2010	浄土宗	慈光院	庫裡御堂耐震補強工事	木造本堂 553平方メートル (167坪)	愛知県
	浄土宗	宝勝院	山門新築工事	鉄骨造	愛知県
	曹洞宗	玉泉寺	客殿・書院改修工事/庫裡新築工事	庫裡 (木造2階建て 46坪)	愛知県
	浄土真宗	浄賢寺	本堂耐震補強工事	木造本堂 253平方メートル (76坪)	愛知県
	臨済宗	永安寺	全伽藍新築工事	木造及び鉄骨造2階建て	静岡県
	真宗大谷派	大應寺	本堂・庫裡新築工事	鉄骨造2階建て (122坪)	愛知県
2011	臨済宗	東向寺	納骨堂新築工事	鉄筋造平屋建て	静岡県
	臨済宗	妙光寺	書院新築工事	木造平屋建て 248平方メートル (75坪)	愛知県
	臨済宗	妙光寺	本堂・庫裡耐震補強工事	木造本堂 320平方メートル (96坪)	愛知県
	臨済宗	耕雲院	本堂耐震補強工事	木造1階建て 47坪	愛知県
	臨済宗	永保寺	本堂・大方玄関復元	木造平屋建て	岐阜県
	浄土宗	光照寺	山門・水堂舎屋根工事 新築工事		愛知県
	臨済宗	禪台寺	本堂耐震補強工事	木造本堂 約56坪	岐阜県
	真言宗	光明院	本堂・客殿全伽藍整備工事および耐震改修	木造平屋建て	千葉県
	日蓮宗	玄妙寺	客殿・庫裡新築工事	鉄骨造2階建て 152坪	静岡県
	浄土真宗	西恩寺	客殿・庫裡新築工事	鉄骨造2階建て	愛知県
2012	浄土真宗	浄賢寺	庫裡・書院新築工事	書院 (木造平屋建て)	愛知県
	曹洞宗	正林寺	庫裡耐震補強工事	鉄骨造平屋建て 62坪	愛知県
	曹洞宗	善導寺	地蔵堂・客殿新築工事	木造2階建て 25.2坪	愛知県
	真言律宗	額安寺	仏舍利殿新築工事	木造平屋建て 29坪	奈良県
	真宗高田派	常恵寺	本堂耐震補強工事	木造平屋建て 21.5坪	神奈川県
2013	日蓮宗	浄春寺	本堂 耐震補強工事/客殿・庫裡新築工事	本堂 (木造平屋建て 55坪)	静岡県
	曹洞宗	龍登院	本堂・開山堂新築工事	木造平屋建て 99坪	静岡県
	曹洞宗	円昌寺	本堂・客殿新築工事	本堂 (木造平屋建て 58坪)	愛知県
	2014	日蓮宗	海源寺	本堂・客殿新築工事	本堂 (木造平屋建て 100坪)
浄土真宗		法久寺	本堂・客殿耐震改修工事	鉄筋コンクリート2階建て 202坪	岐阜県
浄土宗		善導寺	観音堂改築及び納骨堂新築工事	木造平屋建て	愛知県
真宗大谷派		如来寺	庫裡改築工事	木造2階建て 104坪	愛知県
臨済宗		浄専寺	庫裡新築工事	木造平屋建て 53坪	三重県
浄土宗		明德寺	本堂耐震改修工事	木造平屋建て 50坪	愛知県
浄土真宗		岐阜別院	香光殿(教化センター)新築工事	教化センター(鉄骨造平屋建て319坪)	岐阜県
浄土真宗		寿覚寺	本堂耐震補強工事	木造平屋建て 64坪	愛知県
真宗高田派		成就院	本堂・位牌堂新築工事	本堂 (木造平屋建て 57坪)	神奈川県
日蓮宗		妙君寺	庫裡改築工事	木造2階建て	愛知県
2015	臨済宗	長松寺	客殿・大玄関・庫裡新築工事	木造2階建て 122坪	愛知県
	真言宗	赤岩寺	客殿・庫裡新築工事	木造2階建て 151坪	愛知県
	日蓮宗	本覚寺	本堂耐震改修工事	木造平屋建て 67坪	岐阜県
	真宗大谷派	願宗寺	庫裡新築工事	木造2階建て 86坪	岐阜県
	日蓮宗	蓮照寺	本堂・客殿新築工事	本堂 (木造平屋建て 65坪)	愛知県
	曹洞宗	薬師寺	庫裡新築工事	木造2階建て 45坪	大阪府
	浄土宗	善光寺	本堂新築工事	木造2階建て 26坪	愛知県
	真宗大谷派	阿弥陀寺	書庫新築工事	地下:鉄筋コンクリート造 3坪	愛知県
	浄土真宗	岐阜別院	本堂耐震改修工事	木造平屋建て 214坪	岐阜県
2016	曹洞宗	康勝寺	客殿・庫裡新築工事	木造2階建て 87坪	愛知県
	臨済宗	真光寺	全伽藍新築工事	鉄骨造2階建て 260坪	愛知県
	日蓮宗	真柳寺	庫裡新築工事	木造2階建て 41坪	愛知県

② 平面図、配置図、外観の概略 (紙面の関係で、図面類等は次号に掲載予定です。)

## ③ 建設費概算

本体工事 31,550万円 外構工事 1,100万円 解体工事 350万円 工事費合計 36,300万円 (税込)  
 設計・監理料 2,429万円 (税込) **総合計 38,729万円**

## ④ 設計期間及び工期

### 設計期間 及び 工期

	平成28年												平成29年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
設計	基本設計				実施設計										
申請								事前申請		確認申請 適合性判定					
工事								見積期間		契約		着工		11月末竣工	

## 臨済宗妙心寺派 圓福寺

千葉県稲毛区穴川町375

電話: 043 (251) 9181

FAX: 043 (251) 9549

電子メール: oshou@chiba-enpukuji.com

圓福寺は、東京湾沿いの船橋・津田沼・千葉・市原・袖ヶ浦に唯一の臨済宗寺院です。地方から出てこられて、郷里と同じ宗派のお寺を探して、圓福寺にご縁のできる方が多くいらっしゃいます。境内に足を踏み入れ、本堂で手を合わせて、「田舎のお寺と同じ空気が流れている。」「臨済宗らしさがあって安心する。」という声を耳にすることが多くありました。そんな臨済宗信徒さんの受け入れ先として、禪寺らしさ、臨済宗らしさを失わない伽藍を再建することが、この地域にある圓福寺の務めだと思っています。

## 次号は、平面図を掲載します。

設計士さんのプレゼンテーションを経て、伽藍再建の設計をお願いした菅野企画設計さんの平面図等を次号にご紹介させていただきます。

その後の打ち合わせで、再建案が少しずつ改善されていく過程も、打ち合わせごとの平面図をもとにお知らせしていく予定です。

何回も平面図を掲載しなくとも、最終的に決定した基本計画だけお知らせすればいいというお考えもあるかと思いますが、基本計画がまとまるまでのお寺の考えやアイデア、または悩み苦しみ、設計士さんとの協議の経過なども、みなさん

と共有できたらと思っております。

まずは「再建だより」第一号を発行することができ、再建に向けての様子を少しはご理解いただけるかと、ほんの少しだけ胸のつかえがとれた気分です。

圓福寺再建も大いに気になるところですが、熊本地震の終息と復興も心配です。被災された方々には、こころからお見舞い申し上げます。



幼稚園児の卒園茶会  
(書院にて)